伏木唯×山口徳花
デュオコンサート

～ベルリン発デュオ ドイツ音楽を巡る旅～

バッハ
無伴奏チェロ組曲より

メンデルスゾーン
ピアノとチェロのためのソナタ 第1番

ブラームス
6つの小品 作品118より

ベートーヴェン
ピアノとチェロのためのソナタ 第5番

※演奏曲目は変更になる場合がございます。

2019年1月6日（日）

15:00開演（14:30受付開始）　一般 3,000円　学生 2,000円

スタジオピオティータ（京王線桜上水・井の頭線西永福）

ご予約・お問合せ yui.fushiki@gmail.com（伏木）　norika.yamaguchi@gmail.com（山口）
info@ms-tms.com（スタジオピオティータ）

ピアノ：伏木 唯（ふしき ゆい）

札幌出身。4歳よりピアノを始める。
札幌藤女子高等学校、東京藝術大学を卒業。在学時にアリアドネ・ムジカ賞、卒業時に同声会賞を受賞。その後渡独し、ベルリン芸術大学、同大学修士課程を経て、現在は同大学国家演奏家資格課程に在籍中。
2004年第28回PTNA G級銀賞。2010年第29回飯塚新人音楽コンクール第2位、第79回日本音楽コンクール入選。2014年ロケッタ国際ピアノコンクール（イタリア）第1位。2017年第63回マリアカナルス国際ピアノコンクール入賞。第61回ブゾーニ国際ピアノコンクールセミファイナリスト。2018年第4回高松国際ピアノコンクール第3位。
これまでに横須賀芸術劇場ヨコスカ・ベイサイド・ポケット、カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」、東京芸術センター、ベルリン楽器博物館等においてソロリサイタルを開催するほか、東京フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア、瀬戸フィルハーモニー交響楽団と共演。室内楽の分野においても活動の幅を広げている。また藝大モーニングコンサート、日本財団ランチタイムコンサート、ショパンフェスティバルin表参道、ヒンデミットフェスティバル（ベルリン）や、在ドイツ日本国大使館に招かれて演奏するなど出演多数。2011年度（財）ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2016年度文化庁新進芸術家海外研修生。
これまでに小熊倫子、浜田典子、北島公彦、青柳晋、パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子、ビョルン・レーマンの各氏に師事。

チェロ：山口 徳花（やまぐち のりか）

12歳でチェロを始める。
故川内真理子、浅岡理恵、故馬場省一の各氏に師事後、東京芸術大学音楽学部にてチェロを河野文昭、山本裕康、西谷牧人の各氏に、室内楽を加藤洋之、玉井菜摘、花崎薫、迫昭嘉、佐々木亮の各氏に師事。在学中よりオーケストラとの協奏曲共演やリサイタル、室内楽演奏会等の活動を重ねる。2010年には「ながさき音楽祭」に招かれ、長崎県各地の演奏会にて上田晴子、大山平一郎両氏らと室内楽を共演。第16回KOBE国際音楽コンクールにて優秀賞およびガラコンサート推薦を受ける。
2013年、卒業と同時に渡独し、ベルリン芸術大学にてチェロをマルクス・ニコシュ氏に、室内楽をアルテミスカルテット、アルミダカルテット、フランク＝インモ・ツィヒナー、ガブリエレ・クプファーナーゲルの各氏に師事。2015年、同音楽学部を最優秀の成績で卒業すると同時に同大学院修士課程に進学。同年、在ドイツ日本国大使館にて演奏。
ベルリン・ヒンデミット財団、Ad Infinitum(DAAD)財団、（財）ヒロシマ平和創造基金より奨学金を受け研鑽を積む傍ら、ドイツ各地で演奏会や音楽祭に多数出演を重ねる。2016年よりグレゴール・ホルシュ氏（コンセルトヘボウ管弦楽団首席奏者）に継続的に指導を受ける。
これまでにヴォルフガング・ベッチャー、アルト・ノラス、原田禎夫、藤原真理、グザヴィエ・フィリップ各氏のマスタークラスを受講。現在東京を拠点にソロ・室内楽奏者として演奏活動中。

スタジオピオティータへのアクセス

スタジオ ピオティータは京王線桜上水駅、または、井の頭線西永福駅が最寄りになります。【ピオティータ ナビ】で検索されると駅からの写真入りの順路図がございます。地図をご希望の方はオモテ面の連絡先までお申し付けください。無料でお送りいたします。http://ms-tms.com/piotita-navi/
お車でいらっしゃることもできます。（駐車は無料ですが予約をお願いいたします）カーナビでは 杉並区下高井戸4-22-34 と入力されてください。上記URLに車の順路ガイドもございます。 ☎ 03-5316-7161